

## 米国 ドル安による貿易赤字縮小が成長率を押し上げ（16年4月貿易統計）

発表日：2016年6月6日（月）

～4-6月期の実質GDP成長率の再加速を支援する見込み～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治

03-5221-5001

貿易収支 (U.S. International Trade in Goods and Services)

	貿易収支			輸出			輸入			実質財収支				
	Balance	財 Goods	サービス Services	Exports		財 Goods	Imports				輸出	輸入		
15/10	▲415.99	▲628.60	+212.61	▲1.0	(▲7.3)	▲1.6	▲0.6	(▲5.8)	▲0.8	▲609.97	▲1.9	(▲3.6)	▲0.1	(+3.3)
15/11	▲411.22	▲624.86	+213.64	▲1.1	(▲7.5)	▲1.6	▲1.1	(▲5.7)	▲1.3	▲603.90	▲0.9	(▲4.2)	▲0.9	(+2.8)
15/12	▲414.87	▲630.57	+215.70	▲0.3	(▲7.3)	▲0.5	▲0.1	(▲6.9)	▲0.0	▲607.67	+0.5	(▲3.9)	+0.5	(+0.8)
16/01	▲423.09	▲637.48	+214.39	▲1.8	(▲6.4)	▲2.9	▲1.1	(▲5.1)	▲1.5	▲616.63	▲1.6	(▲3.4)	▲0.6	(+1.0)
16/02	▲440.28	▲652.41	+212.13	+1.3	(▲4.1)	+2.0	+1.8	(+0.0)	+2.1	▲636.01	+2.7	(+0.6)	+2.8	(+6.5)
16/03	▲355.36	▲574.41	+219.05	▲1.1	(▲5.4)	▲2.0	▲4.6	(▲9.6)	▲5.5	▲561.09	▲1.9	(▲1.6)	▲5.3	(▲6.4)
16/04	▲374.35	▲588.10	+213.75	+1.5	(▲4.6)	+2.5	+2.1	(▲5.3)	+2.4	▲576.18	+2.0	(▲1.6)	+2.2	(▲1.6)

(注) 輸出入の数字は前月比。カッコ内は前年同月比。

**4月貿易赤字は▲374.35億ドル（前月▲355.36億ドル）と前月比+5.3%**

16年4月の貿易収支（サービスを含む国際収支ベース、季節調整済）は、▲374.35億ドル（前月▲355.36億ドル）と前月比+5.3%拡大。サービス収支の黒字額が小幅減少したうえ、財収支の赤字額が拡大した。ただし、赤字額は市場予想中央値の▲410億ドルを大幅に下回った。

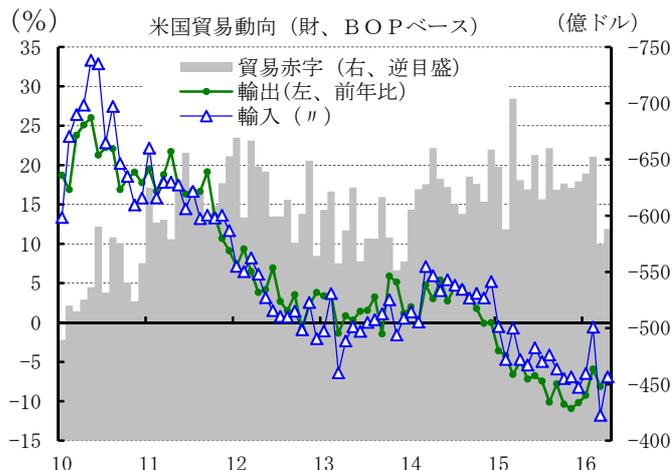
輸出が自動車関連、ダイヤモンド原石、燃料油、石油製品、化学製品、コンピュータ部品、民間航空機部品、電子部品等の増加によって前月比+1.5%と拡大に転じた一方で、輸入が航空機、自動車関連、コンピューター、アパレル関連、玩具・ゲーム・スポーツ用品、電子部品、TV等の増加により同+2.1%と拡大した。なお、1-4月の累計額が前年比で減少している分野の多いなかで、増加している分野をみると、輸出では、世界経済が減速する中で需要の伸びている民間航空機エンジン、コンピューター部品、自動車関連が増加している。一方、輸入では、米国で需要の強い自動車関連、半導体、処方薬、通信機器、野菜、家具・家庭用品が拡大している。

地域別の貿易収支では、元安誘導により一旦増加していた対中貿易赤字額は16年入り後に縮小に転じているが、▲243.06億ドル（15年4月▲268.09億ドル）と規模は大きいまま。また、対EU貿易赤字額は▲118.55億ドル（15年4月▲136.06億ドル）、対日貿易赤字は▲62.20億ドル（15年4月▲71.89億ドル）と主要地域に対して僅かながら貿易赤字額が縮小している。

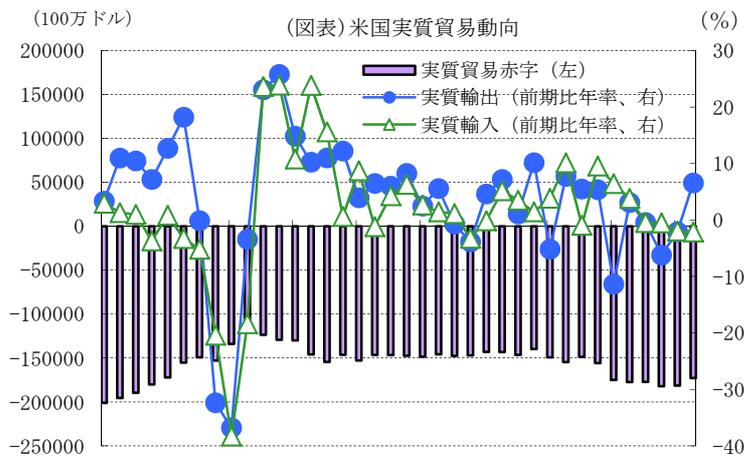
**4-6月期の純輸出のGDP寄与度は前期比年率+0.2%程度に**

実質貿易動向では、4月の財貿易の赤字額が1-3月期平均より減少したことで、5、6月も同水準で推移すれば、4-6月期のGDP成長率を前期比年率で0.4%押し上げる可能性がある。しかし、5、6月には国内需要の堅調さを背景に、輸入の増加基調の持続が見込まれる一方、輸出は貿易相手国の成長鈍化等によって増減を繰り返すとみられ、貿易赤字額は増加する公算が大きい。それでも、4-6月期の純輸出のGDP寄与

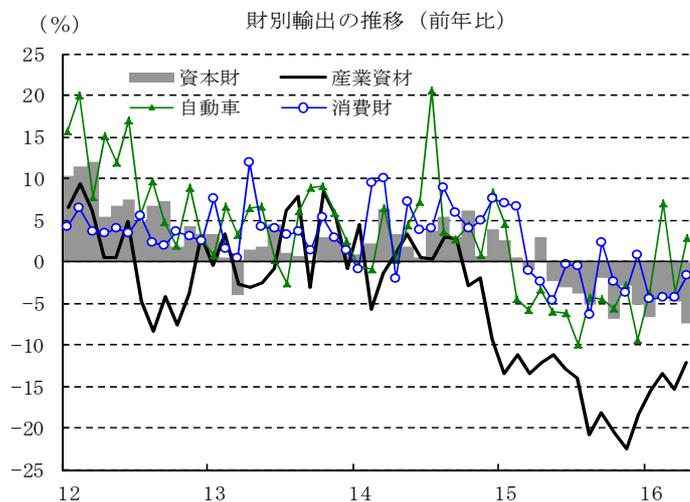
度は、前期比年率+0.2%程度と1-3月期の同▲0.2%からプラスに転じ、4-6月期の実質GDP成長率の加速に貢献すると予想される。



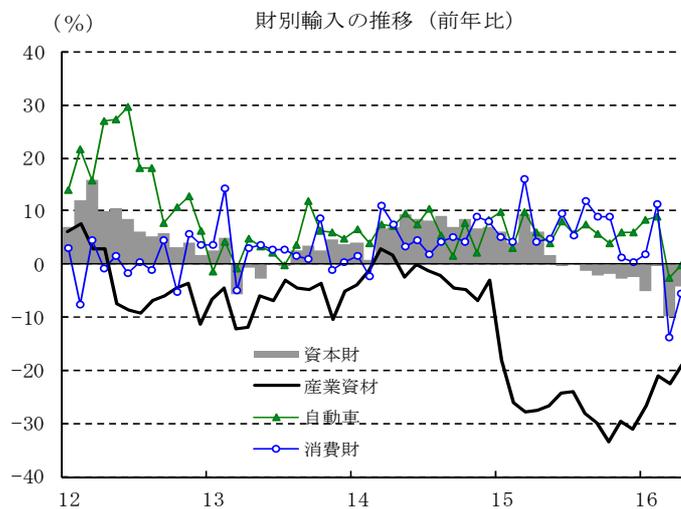
(出所) 米商務省



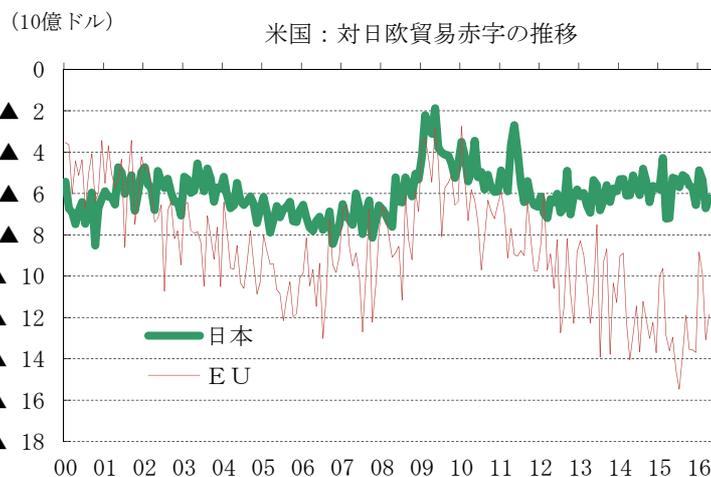
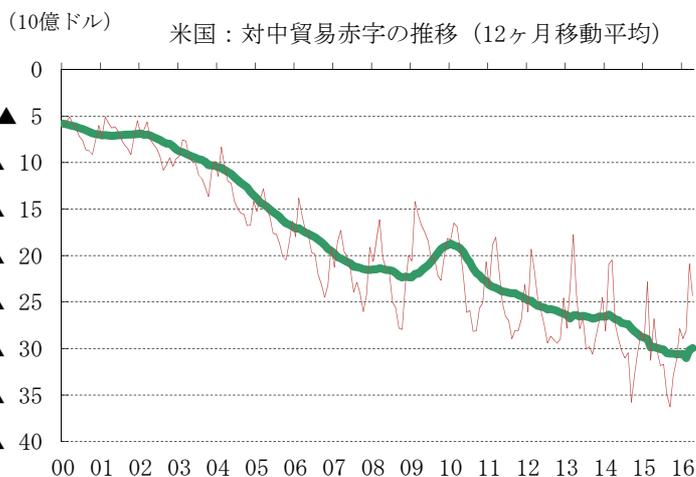
(出所) 米商務省



(出所) 米商務省



(出所) 米商務省



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

	輸出				輸入					
		産業資材 *1	資本財 *2	自動車 *3	消費財 *4		産業資材	資本財	自動車	消費財
15/10	▲1.9	▲3.9	▲1.9	▲0.9	▲2.3	▲0.8	▲5.2	+1.1	+0.9	▲0.4
15/11	▲1.4	▲2.0	+0.2	+0.7	▲2.9	▲1.2	▲1.0	▲1.2	+0.0	▲3.2
15/12	▲0.5	▲1.4	▲0.7	▲3.7	+4.8	+0.1	+1.2	+0.0	+2.8	▲1.8
16/01	▲2.8	▲1.5	▲2.6	+1.0	▲4.6	▲1.5	▲4.5	▲2.3	+1.6	▲0.3
16/02	+2.1	▲0.9	+0.4	+5.4	+4.9	+2.1	▲2.1	+2.5	▲3.8	+8.2
16/03	▲1.9	▲2.5	+0.8	▲7.4	▲6.8	▲5.6	▲3.2	▲4.5	▲3.8	▲11.4
16/04	+2.4	+5.8	+0.3	+6.9	+1.2	+2.5	+3.4	+5.3	+1.8	+1.1

\*3: Automotives vehicles, parts and engines      \*4: Consumer goods, except automotives

	輸出						輸入					
		カナダ	中南米	EU	太平洋工業国			カナダ	中南米	EU	太平洋工業国	
					日本	日本					日本	
15/10	▲10.5	▲16.0	▲12.1	+1.9	▲9.2	▲7.1	▲7.8	▲23.2	▲9.4	+2.6	▲3.7	▲10.0
15/11	▲10.6	▲12.6	▲12.3	+0.1	▲9.2	▲2.5	▲4.5	▲15.3	▲6.9	+3.9	▲1.8	▲0.4
15/12	▲10.3	▲12.3	▲10.3	▲1.6	▲12.3	▲17.6	▲8.3	▲18.1	▲11.3	▲1.0	▲4.6	▲1.4
16/01	▲10.5	▲12.7	▲9.7	▲7.7	▲8.1	▲7.7	▲8.5	▲14.2	▲9.1	▲8.9	▲5.0	▲12.0
16/02	▲3.7	▲4.5	▲6.5	+1.7	▲5.8	▲2.2	+3.2	▲6.2	▲2.5	+2.1	+12.3	+10.1
16/03	▲6.1	▲9.3	▲6.8	+1.9	▲10.5	▲5.9	▲9.8	▲9.8	▲7.9	+1.8	▲17.8	▲6.4
16/04	▲7.4	▲4.3	▲7.4	▲2.1	▲13.1	▲16.2	▲8.1	▲9.0	▲4.4	▲6.0	▲10.6	▲14.7

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。